

平成22年度 海岸委員会

開催の趣旨

1. これまでの取り組み(海岸技術懇談会)

■これまでの取り組み【海岸技術懇談会】

海岸工学分野の学識者とのコミュニケーションを継続的に図りつつ、海岸分野に関する技術的な課題について議論を進めるために開催。

- * 行政の課題認識と若手学識者の研究テーマとの情報共有の場
- * 海岸工学分野における現場の抱える個別事例を題材に、行政の課題認識や具体的な取り組み実態と、学識者の知見・技術との共有化を深める場
- * 海岸行政に関する新規施策や制度改訂に関する提案や検討の場
- * 現場の抱える個別事例に対する解決に繋がるアイデアの提案や検討への参加の契機

2005年(H17年度)	第1回	高潮対策の取り組みの現状と課題
	第2回	侵食対策の取り組みの現状と課題
	第3回	津波対策の取り組みの現状と課題
2006年(H18年度)	第1回	海岸侵食に関して今後検討していくべき課題
	第2回	日野川・皆生海岸における総合土砂管理の取り組み 県境を越えた遠州灘海岸の保全の取り組み
2008年(H20年度)	第1回	今後の海岸侵食対策のあり方 その1
	第2回	今後の海岸侵食対策のあり方 その2
2009年(H21年度)	第1回	H22.2.27チリ中部沿岸地震津波による日本への影響と 津波対策、津波氾濫シミュレーション技術の向上

2. 平成22年度 海岸委員会におけるテーマ

第1回 海岸保全対策のリスク評価と地球温暖化適応策に関する課題と取り組み

第2回 海岸背後地の土地利用状況を考慮した高潮・津波被害軽減方策

に関する検討

【H22年度の議題の問題意識】

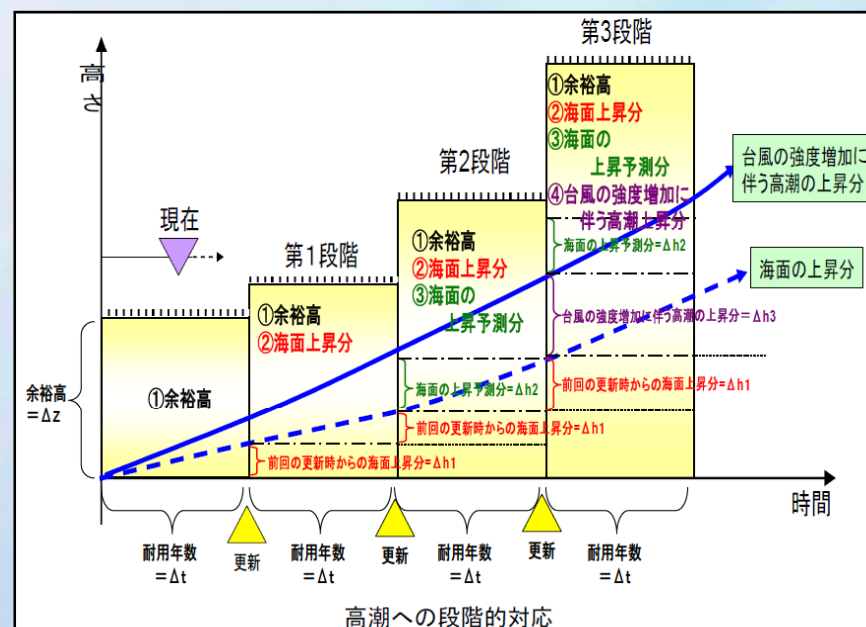
社整審議会「気候変化への適応策(答申)」(H20)では、“高潮堤防等においては、**施設更新**などに**あわせて**増大する外力を見込んだ**高潮堤防等の嵩上げ**を行い、浸水頻度を減少させる必要がある。”と取組の方向性は示されているが、**現況の整備水準**を踏まえた**事業展開**に関する**具体的な検討**は**なされていない**。

面的防護施設(堤防、離岸堤)における**適応策実施**に向けた**検討**

⇒第1回

整備の優先順位を譲る地先の選定方法と被害極小化の取組み(土地利用等を考慮)

⇒第2回



社会資本整備審議会

「水災害分野における地球温暖化に伴う気候変化への適応策のあり方について(答申)」(H20)

3. 平成22年度 海岸委員会開催予定

11月19日(金)13:00～ 第1回海岸委員会開催

海岸保全対策のリスク評価と地球温暖化適応策に関する課題と取り組み

現況の整備水準を考慮した海面上昇への適応策の具体化に向けた検討(ハード対策中心)

- ①高潮に対する水害リスク評価手法(資産、人命、重要施設)の検討
- ②適応策(堤防かさ上げ、離岸堤改築等)に関する海面上昇量と対策費用の検討
- ③高潮対策における適応策の短期・長期における取り組みの考え方

※侵食対策も含めた適応策の検討は、今回の議論では今後の課題とする。

12月 1日(水)16:00～ 第2回海岸委員会開催

海岸背後地の土地利用状況を考慮した高潮・津波被害軽減方策に関する検討

海岸保全施設整備延長 約68%、海面上昇への対応、

⇒背後地の利用状況を考慮した整備の優先順位、譲るべき箇所での対策のあり方

(ソフト対策中心)

- ①背後地を考慮した被害軽減方策の事例(堤防のセットバック、二線堤、災害危険区域指定)
- ②背後地の評価手法の検討(土地利用、人口、重要施設(現況・将来)等)
- ③背後地の評価と被害軽減方策(優先整備と譲るべき箇所、ハード・ソフト)の組合せの考え方
- ④ケーススタディーにおける検討